令和3年度事業報告

Ⅰ　環境保全活動促進協働事業

1　協議会会長表彰

◆個人1　団体3　学校3　企業1 を表彰

個人：寺杣　督平

団体：丹生おもちゃ病院、福井中央ライオンズクラブ、寄場川を守る会

学校：あわら市金津東小学校、永平寺町志比南小学校、勝山市立三室小学校

企業：公益社団法人　小浜市建設機構

総会が書面開催となったことにより、令和3年度の表彰式は中止。

2　ふくいまるごと環境学び舎

○環境保全活動の活性化を促すため、環境保全団体へのセミナー等を実施

◆環境ふくい未来創造事業助成団体へのアドバイスを随時実施

◆会員向けに「SNS発信力向上セミナー」を開催（21名参加）

日時：11月5日(金)、福井市総合ボランティアセンター　研修室A・B

講師：黒部 一隆 氏(環境省大臣官房総合政策課総括補佐)、
高井 健史 氏(福井県民生活協同組合渉外広報部統括課長)

3　環境マネジメント推進事業

◆環境マネジメントセミナーをオンライン形式で開催（２月１０日～８月末まで）

①「エネルギー転換（水素・アンモニアの利用）の必要性と電源や産業、運輸への関わりについて」

講師：一般社団法人ふくい水素エネルギー協議会　羽木　秀樹　氏

②「省エネで使用できる補助金」

講師：株式会社ｅｔｔｏ　皆川　陽一郎　氏

4　市町環境連携事業

○市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対しその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。

◆８市町に助成（予定）　※Ｒ２実績　７市町

・福井市：くらしと環境を考える～パネルdeミニ迷路展～（1月13日～1月18日）
・敦賀市：つるが環境フェア２０２１（１１月２７日）
・大野市：自然ふれあい探検隊事業（６月１２日、８月１日、９月１１日）
・鯖江市：木のおもちゃであそぼう（２月２０日～３月２２日）
・あわら市：あわら市エコ市民会議（市民バードウォッチング、環境展）
・越前市：アースデイえちぜん2021（６月１３日）
・坂井市：エコアクションさかい 九頭竜川河口清掃活動（１１月２８日）
・南越前町：南越前町不法投棄防止啓発事業（１月２０日～２月２５日）

5 こどもエコクラブ活動促進事業

○こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

・助成団体数　2クラブ（坂井市立丸岡南中学校、福井市鷹巣小学校）

・エコクラブ登録数：１１クラブ、メンバー数：９２３人

6 SATOYAMA国内ネットワーク推進

○里山里海湖における生物多様性の保全再生活動を 県外へアピール

◆ＳＡＴＯＹＡＭＡイニシアティブ推進ネットワーク

・幹事会　１０月６日、 ３月１０日開催（オンライン開催）

・総　会　１０月８日開催（オンライン開催）

・交流会　新型コロナウイルス感染拡大のため中止

◆エコプロ２０２１へ出展（１２月８日～１０日：東京ビックサイト）

SATOYAMA イニシアティブ 推進ネットワーク

7 専門家による団体サポート事業

○団体等が抱える種々の問題（団体経営、情報化等）に対して専門家を派遣し、適切な診断・助言により、問題の解決、団体の成長・発展を図る。

（最大５回。派遣にかかる謝金は環境ふくい推進協議会が負担）

◆派遣する専門家の分野　司法書士、行政書士、中小企業診断士、マネジメント、ICT 等

◆派遣団体　１団体：森のようちえん風のいろ（マネジメント）

8 親子で環境活動推進事業

○小学生の親子を対象に、『５０の自然体験』に関連する自然体験イベントを実施

①１月２３日（日）（対象：小学１～３年生の親子）

②２月６日（日）（対象：小学４～６年生の親子）

※②は新型コロナウイルス感染拡大のため中止

9 プラスチックごみ削減推進事業

◆海洋プラスチックごみ対策セミナーを開催

日時：２月２３日（水・祝） オンライン形式で開催（約６０名参加）

講師：野口 淳一郎 氏（環境省中部地方環境事務所資源循環課長）、

西野 ひかる 氏（アノミアーナ代表）

10 オンライン環境向上支援事業

○会員の「新しい生活様式」に対応した活動を支援するためオンライン環境の向上に対する助成を実施。（上限１０万円）

・オンライン活動に必要な機器などの購入費用への助成（購入費用の１/２）

・オンライン活動に必要な機器などのレンタル費用への助成（レンタル費用の全額）

◆4団体から申請（(一社)SwitchSwitch、武生めだか連絡会、福井小水力利用推進協議会、NPO法人エコプランふくい）

Ⅱ　普及広報事業

１　情報誌発行事業

◆「みんなのかんきょう」を協議会会員、小・中・高等学校等に配布（3月）

２　ホームページによる普及広報

◆ホームページやFacebookを活用し、お知らせやイベント情報を発信（随時）

・ＨＰ累計閲覧数　２１，９８４件（Ｒ３．４～Ｒ４．３）（前年比　１２６％）
※Ｒ２実績　１７，４４５件

・Ｆａｃｅｂｏｏｋ更新回数　５６回　※Ｒ２実績　４４回

３　メールマガジンの配信による普及広報

◆「イベントお知らせ編」　２４回【毎月第２、４金曜日】

◆「法令編」　５６回【随時】

４「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」普及広報

◆ガイドブック「ふくいっ子に体験してほしい５０の自然体験」を県内の各小学校新１年生全員に配布（令和３年７月１５日発送）

◆ゼロカーボン実現のため、子どもでもできる取り組み１０項目を追加する内容で改定。

５　各市町環境フェアにおける普及広報

○県内で開催される市町の環境フェアにブース等を出展し、環境について県民に考えてもらう機会を提供

・６月１３日（日）　アースデイ越前（越前市）

・１１月２７日（土）つるが環境フェア（敦賀市）

＜出展内容＞

・木のぶんぶんごま作り　・竹紙を使用した折り紙体験

・環ふ協の活動ＰＲ（パネル展示、パンフレット配布等）

Ⅲ　県補助事業

１　環境アドバイザー派遣事業

○学校や自治会等が開催する研修会へ講師を派遣　　７０名派遣

＜派遣分野＞

・自然体験関連　：　４５名　　・環境問題関連　：　２５名

２　リペア･リユース推進事業

○修理ボランティア人材の育成・団体への補助等を通じものを修理して長く使い続ける社会づくりを実施

（１）修理ボランティアの人材育成

（２）リユースイベント開催団体への補助

（３）古本市の開催

おもちゃの病院

◆修理ボランティアの人材育成

・洋服とぬいぐるみの修理を行うための技術を取得する講座の開催

１１月１４日（日）　アオッサ工作実習室（福井市）

３月（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）

・おもちゃの修理技術を習得すう講座の開催

３月１９日（土）　越前市社会福祉センター（越前市）

◆リユースイベント開催団体への補助

・簡単な修理やリユースを行い、身近なところで団体が継続して活動していく体制を構築

◆古本市の開催

・古本市の開催　（ふるさと環境フェアにおいて開催）

・無人古本市の設置　ユーアイふくい、陶芸館、嚮陽会館

３　地球温暖化ストップ県民運動「ゼロカーボンアクション」強化事業

○地球温暖化ストップ県民運動「ゼロカーボンアクション」を推進し、節電などを実践する地球温暖化防止活動の輪を広げる

◆エコチャレふくいの推進

・家庭の日（毎月第３日曜日）を統一行動日に設定し、季節ごとのテーマに沿ったエコな取り組みを多くの県民の参加を得ながら実施

◆「クール・ウォームシェアふくい」の実施

・シェアスポットを巡る非接触型スタンプラリーキャンペーンの実施

［クールシェアふくい　７/１７～９/３０実施］

［ウォームシェアふくい　１１/２０～２/２８実施］

◆省エネ家電・住宅設備買替キャンペーンの実施（８/１～１/２０）

・省エネ性能の高い家電への買替えや、窓の断熱改修、高効率給湯器の設置等により、家庭の消費電力抑制を促す取組みを推進

◆ＺＥＨ（ネット･ゼロ･エネルギー・ハウス）の普及啓発イベントの開催

◆次世代自動車（ＥＶ・ＦＣＶ等）の普及啓発イベントの開催

４ 県民主体の省エネ普及啓発事業

◆県内大学生による省エネ活動推進グループが、若者の発想力や発信力を活かした地球温暖化対策や省エネ活動の普及啓発活動を実施
・省エネカードゲーム体験会の実施
・省エネ普及のためのＧＩＦ画像等の作成、ＳＮＳでの発信 等
◆スキルアップ講座（２月２６日実施）
・福井県の気候変動について学ぶグループワークをオンラインで実施

５ ふるさと環境フェア開催事業

○県民への自然環境問題や地球温暖化防止対策の周知、循環社会の形成意識の醸成、生物多様性保全意識の定着のため、イベントを通した環境学習の場として環境フェアを開催

◆テーマ
未来へつなげるふくいの環(わ)
～地球がたいへん！子どもたちの未来、あなたが動けば明日が変わる～

◆ふるさと環境フェア ワーキング開催
（４月２７日、５月３１日、７月８日、１０月１２日）

◆開催日時・会場
１１月２３日（火・祝）福井県産業会館において開催
（来場者数　約８千人）

Ⅳ　特別会計

環境ふくい未来創造事業

○環境保全団体の活動を支援

◆第1回育成支援部会（7月８日）において申請団体によるプレゼンテーションを実施

◆第2回育成支援部会において助成団体からの事業報告を実施（3月25日）

◆令和3年度助成内容

・スタート応援枠（団体を立ち上げてから5年未満の団体等への助成）　4団体

・共働活動応援枠（新たに他団体と共働して活動する団体等への助成）　4団体

〈 スタート応援枠〉

	申請団体名 （代表者名・所在地）	助成を受けて行う活動の概要	助成額 （円）
1	森のようちえん風のいろ 代表 高橋 香里 坂井市 ※令和2年度助成	【 雨と太陽が与えてくれるもの ～雨水と太陽熱を利用して～ 】 ・雨水取水タンクと太陽熱温水システムの取り付け・森のようちえん活動(観察、畑への水やり等)での利用 ・ソーラークッカーづくりと畑で取れた野菜での調理体験	100,000
2	一般社団法人Compath 代表 橋田 昌晃 坂井市	【 東尋坊周辺エリアの秘境「蔵の間」クリーンアップ大作戦 】 ・「蔵の間」および二の浜海岸における環境保全のための草木の整理、海岸ごみ拾い	100,000
3	柿谷町里山嘉来会 代表 塚本 伊三男 福井市	【 幸せをかき（柿）集めるライラックの里作り 】 ・山間地の限界集落である柿谷町の活性化・移住促進を目的としたライラックの植樹活動	100,000
4	さとやま子育てコミュニティいけだのそら 代表　秋元　美奈 池田町	【 森の生き物観察と森あそび、畑仕事と収穫物の調理および販売体験 】 ・自然体験の専門家と一緒に行う生き物観察会とバードコールづくり ・畑で野菜を育て、収穫物の調理・町内の直売所における販売体験	100,000

〈 共働活動応援枠〉

	申請団体名 （代表者名・所在地）	助成を受けて行う活動の概要	助成額 （円）
1	特定非営利活動法人 森林楽校・森んこ 理事長 萩原 茂男 おおい町 ※令和２年度助成	【 かやぶき民家のある里山の風景を残そう！ 】 共働先：ホテル流星館、(合)おおい町地域電力 ・ＯＩＳＡＫＯ内のかやぶき民家の改修 ・里山のくらし体験会	300,000
2	株式会社まちUPいけだ 代表取締役　田崎 健治 池田町	【いけだ農村がっこう ステップアップキャンプ】 共働先：池田町農業公社、池田町米穀協同屋、池田町老人クラブ、(合)はたをらく等 ・年長～小学校2年生を対象としたキャンプイベントを実施。イベントではツリーピクニックアドベンチャーいけだを拠点に、秋の農作物収穫体験、自然遊び、セイタカアワダチソウの駆除・染めなど、町内全域で自然体験活動を行う。	300,000
3	藤島高校生物部 顧問　橋本 由香里 福井市	【DNAを用いたニホンイタチとシベリアイタチの同定及び分布域調査】 共働先：福井市自然史博物館 骨格標本作成ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｸﾞﾙｰﾌﾟ ・自然史博物館・路上で発見されたイタチの死亡個体からのDNA抽出・PCR検査による、固有種（ニホンイタチ）と外来種（シベリアイタチ）の同定。 ・ニホンイタチとシベリアイタチの生息分布地図の作成。	300,000
4	こどもの森運営委員会 委員長 広瀬 陽子 坂井市 ※令和２年度助成	【 こどもと森が育つ木育の里環境づくり 】 共働先：(NPO)森のほうかごがっこう、一般社団法人竹田文化共栄会 ・木育ガーデンPLAYの老朽化したドームハウスの撤去、子ども向けの小さなツリーハウスの制作 ・森の間伐・下草刈り	300,000